

2018年9月号

9月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 264



## 巣立ち、そして旅立ち…

親を呼ぶ、食事をねだる、コソコソ隠れんぼ、でも気になる・・・

巣立ち雛はもうすっかり親鳥と同じくらいに成長して見分けがつかないほどです。彼らの仕草を見ていると愛くるしさを感じるとともに、人間と共通している点も多いことに気づきます。

旅立つときももうすぐ。また元気に、ここに帰っておいで。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



**【エゾリンドウ】**  
 リンドウ科 蝦夷竜胆  
 湿原内の所々で見られます。数が少なく、毎年咲いてくれるかどうかハラハラします。シカに食べられないよう祈るばかりです。



**【ハンゴンソウ】**  
 キク科 反魂草  
 鶴居軌道沿いなどで、時に群落を作ります。お盆の頃に咲き始めることから、魂を呼び戻すという意味でこの名前がついたそうです。



**【ウメバチソウ】**  
 ニシキギ科 梅鉢草  
 湿原に咲く最後の花です。もし木道の近くに手頃な花が咲いていたら、近寄ってじっくりと観察してみてください。



**【コガネギク】**  
 キク科 黄金菊  
 ミズゴケ湿原に咲く最後の花がこの花。ミズゴケ湿原テラスから双眼鏡を使うと、点々と花を咲かせているのがわかります。



**【エゾトリカブト】**  
 キンポウゲ科 蝦夷烏兜  
 これも秋を代表する花。最近、とある漫画のブームでトリカブト = 猛毒、というイメージが今の子供たちにも浸透しているようです。



**【ミドリシジミ】**  
 シジミチョウ科 緑蛸  
 今年はセリ科の花に集まる姿が多く見られました。翅を開くと美しい緑色をしています、見られるチャンスはなかなか訪れません。

○表紙の写真 上：アオジの幼鳥と親鳥 中右：オオジュリンの幼鳥 中左：ノビタキの幼鳥 下：ベニマシコの幼鳥

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

釧路湿原の夏鳥たちは徐々に南へと旅立っていきます。親鳥と同じくらいの大きさに成長した雛鳥たちの姿が見られる時期もあとわずか。また、9月には久しぶりにクマガラの鳴き声が聞かれました。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【コサメビタキ（幼鳥）】  
夏鳥 ヒタキ科 小鮫鷗  
林の中で「チチチチ…」と鳴声を響かせて親鳥を呼んでいました。クリッとした目は親譲りで、とても愛らしいですね。



【ノゴマ】 夏鳥  
ヒタキ科 野駒  
木道の脇から現れて、長い脚を生かしてチョコチョコと歩き回っていました。そろそろ彼らとも来年の春までお別れです。



【スズメ】 留鳥  
スズメ科 雀  
「スズメ、ですよね？」  
「スズメ、だねえ。」  
「やっぱり。」  
「温根内で初めて見たよ。」  
「え？」



【ピンズイ】 夏鳥  
セキレイ科 便追  
地鳴きが聞こえたので注視していると姿を見せてくれました。これも若鳥なのか、興味津々でこちらを窺っていました。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（8月15日～9月14日）和名は五十音順 \* 外来種

■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■アメリカセンダングサ\* ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■イヌホオズキ■イワアカバナ■ウド■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾタチカタバミ■エソトリカブト■エソナミキ■エゾノコギリソウ■エゾノレンリソウ■エゾノヨロイグサ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■ガマ■カラハナソウ■カラフトノダイオウ■キクムグラ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クスダマツメクサ\* ■クルマバナ■ゲンノショウコ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキツル■コタヌキモ■コハコベ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマギク■シロザ■シロツメクサ\* ■シロネ■セイヨウタンポポ\* ■セイヨウノコギリソウ\* ■セリ■タニソバ■チシマアザミ■チドリケマン■ツメクサ■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ナズナ■ネジバナ■ノブキ■ハッカ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン\* ■ヒメスイバ\* ■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■ヘラバヒメジョオン\* ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノシバナ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ\* ■ミカツギクサ■ミス■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ムラサキツメクサ\* ■メマツヨイグサ\* ■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤブマメ■ヤマハギ■ヤマハハコ■ヨシ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（8月15日～9月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■オジロワシ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマガラ■ヤマゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■ニューナイスズメ■スズメ（9/2 温根内初確認）■ハクセキレイ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■シメ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ 実りの秋 この実なんの実? ☆☆☆☆

秋が深まりつつある釧路湿原。青々としていた草や葉、そして彩り豊かな花の姿が段々と少なくなってきました。何だかにぎやかな季節が過ぎ去ってしまったようで寂しい気分にもなりますが、ちょっと待ってください。温根内にはまだまだ興味深いものが見られます！そのひとつは、植物の「実」。どれも個性的な形をしていますね。子孫を遠くへ広げる工夫をしている種もあります。右にクイズを用意したので、実と花の関係を結んでみてください。どの実も今の時期に見られますので探してみましょ！もちろん、これ以外にも植物の実はたくさんありますよ！（クイズの答えは本ページ下部にあります）

①～④の実はどんな花だった？対応する実と花を結んでみよう！

実				
花				
	ゴキツル	マムシグサ (コウライテンナンショウ)	ツリフネソウ	シナノキ

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



◎「アイヌ民族の利用した植物を観察しよう」9月9日 参加者：18名  
釧路アイヌ語の会の奥田氏に講師をお願いし、散策コースをアイヌ民族の利用した植物をたどりながら歩く観察会を今年初めて実施しました。奥田氏からは木道沿いに見られる植物について、まずアイヌ語での呼び方に始まり、その意味を深く掘り下げながら解説していただきました。植物以外にも動物とアイヌとの関わりなどを、民謡も交えながらとても楽しく聞かせていただきました。散策後も講師の解説をもっと聞きたい！という声も多数あり、大盛況のうちに会は終了しました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内（10月）☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～

〔日時〕10月7日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を知り、生息環境を観察します。



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ムックリ（口琴）を作ろう

〔日時〕10月20日（土）13：00～15：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕¥300（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪晩秋の湿原 野鳥観察会

〔日時〕10月27日（土）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕憩の家かや沼 駐車場

キリフネ=① ヲルキニ=② ムネツルハニ=③ 4467△=④ 夕景の夕凧

～アイヌ民族と植物 展示中～



館内に「アイヌ民族と植物」の小展示コーナーを設けております。アイヌ民族にまつわる植物標本のほか、アイヌ語パズルなどが楽しめます。（釧路アイヌ語の会・環境省・環境財団）

月刊 温根内通信 No.264

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館） 入館無料